

令和7年10月27日
第2回群馬支部評議会

データ分析による支部の健康課題と 解決に向けた令和8年度の事業方針について

目次

- ・ 健康課題と取組み P 2
（「資料3-2データ分析」を併せて説明）
- ・ 令和6年度重要業績評価指標（KPI）一覧 . . P 4
- ・ 令和6年度の複合的な広報の実施 P 5
- ・ 令和7年度の複合的な広報の実施 P 7
- ・ 来年度事業の方向性（広報除く） P 8

現状

- ・Ⅲ度高血圧の男性は全国 5番目に多い（群馬 2.0%・ 1,791人、全国平均 1.7%）
女性 は全国11番目に多い（群馬 0.8%・ 443人、全国平均 0.7%）
- ・Ⅰ度高血圧の男性は全国17番目に多い（群馬41.5%・ 37,179人、全国平均39.5%）
女性 は全国19番目に多い（群馬25.7%・ 14,233人、全国平均24.3%）
※Ⅲ度高血圧（180mmHg以上／110mmHg以上）、Ⅰ度高血圧（140～159mmHg／90～99mmHg）
- ・収縮期血圧140mmHg以上の男性は全国16番目に多い（群馬21.5%・ 19,261人、全国平均20.0%）
女性 は全国11番目に多い（群馬14.0%・ 7,753人、全国平均12.8%）
- ・拡張期血圧 90mmHg以上の男性は全国 7番目に多い（群馬23.4%・ 20,962人、全国平均20.7%）
女性 は全国14番目に多い（群馬10.4%・ 5,759人、全国平均 9.4%）

・「生き生き健康宣言事業所」のプランでは『高血圧対策の実施』を必須項目にしており、健康宣言事業所数の拡大を図った。（宣言事業所数 R7.4時点：1,611事業所 → R7.10現在：1,698事業所）

・生活習慣病予防健診受診者のうち血圧受診勧奨該当者に対する健診当日の受診勧奨を実施した。（健診機関が行う0次勧奨）

・トラック協会の広報誌に、同業態の血圧リスク等の健康課題をグラフ等で“見える化”して掲載するとともに、具体的な対策となる健康づくりを紹介した。

・健康宣言事業所限定で運動・食事・歯科衛生・メンタルヘルス等の「健康セミナー」を用意。（先着50事業所、オンライン・VOD・DVD貸出・訪問型と異なる形式で受講可能）

・上毛新聞社との共催により「楽しい！血圧コントロールキャンペーン」を実施中。

・「G-WALK+」を使った群馬県主催のイベント「2025年度夏の陣（令和7年8月）」における広報に協力した。
また、冬の陣（令和7年12月～令和8年1月）では初めて協会けんぽ加入事業所の企業対抗戦を行う。

取組み状況

G-WALK+ 企業対抗戦 2025年夏の陣
8月1日(金)～8月31日(日)

健康宣言事業所限定で運動・食事・歯科衛生・メンタルヘルス等の「健康セミナー」を用意。（先着50事業所、オンライン・VOD・DVD貸出・訪問型と異なる形式で受講可能）

※健康宣言事業所限定で運動・食事・歯科衛生・メンタルヘルス等の「健康セミナー」を用意。（先着50事業所、オンライン・VOD・DVD貸出・訪問型と異なる形式で受講可能）

※健康宣言事業所限定で運動・食事・歯科衛生・メンタルヘルス等の「健康セミナー」を用意。（先着50事業所、オンライン・VOD・DVD貸出・訪問型と異なる形式で受講可能）

協会けんぽ群馬支部 令和7年度 受講無料 健康セミナーのご案内

対象：生き生き健康宣言事業所をされている事業所

健康セミナーは全18種類
4つの実施形式の選択が可能です（実施可能な形式はセミナーにより異なります）

①オンライン ②VOD（動画視聴） ③DVD貸出 ④講師派遣（訪問型）

実施日時	実施形式	申込期限	開催回数
平日 9:00-19:00	①オンラインによるセミナー ②VOD（動画視聴） ③DVD貸出	希望日の1か月前	50回
平日 9:00-17:00 土曜日 9:00-15:00	④講師派遣（訪問型）	希望日の1か月前程度	30回
原則平日（要相談）	④講師派遣（訪問型）	希望日の2か月前	1事業所につき1回

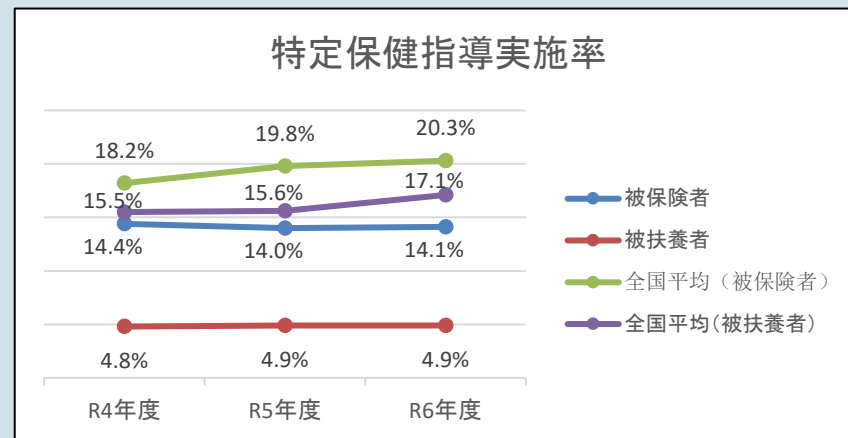
お申し込みから開催までの流れ（※要相談）

①お申し込み ②開催日程調整 ③開催当日

お問い合わせ：群馬県健康推進課 TEL:027-226-2602

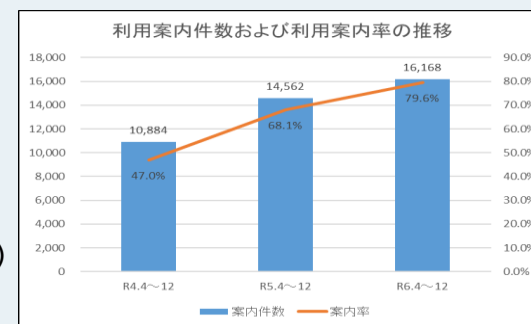
現状

- ・ 特定保健指導の実施率が被保険者、被扶養者共に全国平均より低く、全国的にも下位に位置する。
- ・ 被保険者については実施者ベースの比較において委託先健診機関による実績が全国平均と特に乖離している。
- ・ 被扶養者については、R6年度に協会けんぽが主催する集団健診時の特定保健指導同時実施により利用者数が増加した。集団健診を冬期に実施したため、実施率への反映はR7年度になる。



◎これまでの取組と結果

- ・ 特定保健指導対象者への利用案内件数を増加させ、特定保健指導実施件数の増加を図る。
利用案内件数、利用案内率は共に年々向上している。
予想に反し特定保健指導実施件数が伸びないため、以下の取組を行っている。
- ①他支部の取組を参考に、文書発送後の電話勧奨を強化（7月より）
- ②利用案内文書をわかりやすくする（9月発送分より）

取組み
状況

- ・ 管理職等による大規模事業所およびデータヘルス計画対象業態（「その他の対象事業所サービス業」・「社会保険・社会福祉・介護事業」）を中心に保健指導利用勧奨を実施。
- ・ 令和8年度に開始する人間ドックの費用補助において特定保健指導の実施をセットとしているため、人間ドックの委託契約を希望する実施機関のうち特保未契約の機関へ委託契約勧奨を実施。

◎これまでの評価

管理職等の訪問による経年的な利用勧奨により、大規模事業所1社（対象者約160名）の特保を実施。また、特保実施に意欲的な委託先が出てきており、当支部より当該実施機関への期待を伝えることでよりよい関係構築に努めている。
依然として目標値と実施率には大きな隔たりはあるが、上記取組を推進することで目標達成を目指す。

令和6年度重要業績評価指標（KPI）一覧

評価はKPIの達成度合いを3段階で表示
 ◎：目標を上回る
 ○：目標達成（計画通り）
 △：目標未達

具体的施策		KPI	群馬			
			目標	結果	順位	達成状況
戦略的保険者機能関係	特定健診実施率・事業者健診データ取得の向上	生活習慣病予防健診受診率を61.2%以上とする	61.2%	57.1% (62.7%)	33位 (27位)	△
		事業者健診データ取得率を8.4%以上とする	8.4%	7.0% (6.0%)	29位 (38位)	△
		被扶養者の特定健診受診率を31.5%以上とする	31.5%	29.4% (28.6%)	26位 (23位)	△
	特定保健指導の実施率及び質の向上	被保険者の特定保健指導の実施率を16.3%以上とする	16.3%	14.1% (14.0%)	44位 (42位)	△
		被扶養者の特定保健指導の実施率を6.1%以上とする	6.1%	4.9% (4.9%)	46位 (46位)	△
	重症化予防対策の推進	受診勧奨後10か月以内に医療機関を受診した者の割合を32.6%以上とする	32.6%	32.3% (32.6%)	40位 (29位)	△
	健康経営（コラボヘルス）の推進	健康宣言事業所数を1,580事業所以上とする （※）標準化された健康宣言の事業所数	1,580	1,587 (1,481)	—	○
	ジェネリック医薬品の使用推進	ジェネリック医薬品使用割合（※）を年度末時点で対前年度以上とする ※医科、DPC、歯科、調剤	前年度 (84.2%) 以上	89.3% (82.4%)	26位 (22位)	○
	地域の医療提供体制等への働きかけや医療保険制度に係る意見発信	効果的・効率的な医療提供体制の構築に向けて、地域医療構想調整会議や医療審議会等の場において、医療データ等を活用した効果的な意見発信を行う	実施	2回実施 (6回)	—	○
	広報の推進	全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を56.0%以上とする	56.0%	56.21% (55.67%)	33位 (31位)	○

※（ ）は前年度の実績

令和6年度の複合的な広報の実施

令和7年7月7日
第1回群馬支部協議会
資料2-1より

群馬支部の課題である「**血圧リスクの保有率が高いこと**」「**インセンティブ制度の認知度が低いこと**」について前年度に引き続き、さらに「**上手な医療のかかり方**」を加えた対策を群馬支部における令和6年度の重点事業として位置づけ、啓発と行動変容を促すことを目的に複合的な広報を実施した。

- ① ラジオドラマ放送・アーカイブ・特設サイト ② 記者会見



- ③ Web広告（Yahoo! Instagram バナー） ④ マンガ冊子



令和6年度の複合的な広報の実施（詳細）

令和7年7月7日
第1回群馬支部評議会
資料2-1より

① ラジオドラマ放送・アーカイブ・特設サイト

インセンティブ制度や血圧リスク、上手な医療のかかり方についての周知を目的に、オリジナルラジオドラマ『みんなとシドーのポポッとけんぽ』（全9話）を制作し、FM群馬において放送。

放送日：令和6年12月6日～令和7年2月21日 毎週金曜日 9:55～9:59（全9話）



- ・ラジオドラマの音源を活用し、Web上で使用可能なアーカイブ動画制作を実施。
- ・アーカイブ動画を含めた特設Webサイトを制作し、協会けんぽの取組や各種広報内容を確認できるようにした。
- ・ラジオ聴取層以外にも番組を届けるとともに、ラジオリスナーもいつでも聞き直し可能なアーカイブとしての機能をもたせた。

アーカイブ動画制作本数：全13本 ※協会けんぽ群馬支部 YouTubeチャンネルにて公開中

② 記者会見・ラジオ出演

ラジオドラマの認知度向上を目的に、ラジオ放送開始直前にプレスリリースを行い、令和6年11月26日に記者会見を実施。当日の群馬テレビニュースにおいて放映、後日上毛新聞紙上においてカラー掲載。

③ Web広告（Yahoo! Instagram）

重点広報項目の理解促進と具体的な行動変容を促すことを目的に、バナー広告を掲出し特設サイトへ誘導。

④ マンガ冊子制作

上手な医療のかかり方について、小学生向けのマンガを制作。保護者世代にも伝えやすい構成とし、前橋市内の小学5～6年生へ配付。

⑤ 職員ラジオ出演

支部職員がFM群馬の番組へ出演し、パーソナリティとの掛け合いによる健康づくり等の取組を周知。全5回。

令和7年度の複合的な広報の実施

群馬支部の課題は、「血圧リスク保有率の高いこと」、「インセンティブ制度の認知度が低いこと（特に評価項目の一つである特定保健指導の実施率の低いこと）」である。

これらの課題への対策を群馬支部における令和7年度の重点事業として位置づけ、啓発と行動変容を促すことを目的に複合的な広報を実施する。

①ラジオ出演

課題についての周知を目的に、FM群馬に出演。

令和7年11月～令和8年2月の間に6回（放送日未定） 各回2分間の出演

②LP（ランディングページ）作成

特設ページを作成。課題ごとのページがあり後段にあるYouTubeとも連動させる

③YouTube動画作成

課題ごとに動画制作。動画を通して啓発。WEB広告から誘導する。

④WEB広告

YouTube、Facebook、Instagram、Tverで動画の広告を行う。

⑤シネアドでの広報

年末年始に県内4劇場で動画の広告を行う。

来年度事業の方向性（広報除く）

群馬支部の地域特性に沿った事業の実施に取り組んでいきます。

①業種ごとの対策

加入者数が多い「製造業」、リスクの保有割合が高い「運送業」などターゲットを決め、各業種における健康課題を示した『業態別カルテ』の送付や、健康課題に応じたポスターの作成・配布をすることで健康意識を高め、健康宣言事業等に結び付けていきたい。

②外国人対策

群馬県は外国人比率が高い地域です。外国人労働者が多くいる事業所や業界で健康保険制度に関することで困っていることがないかを調査して事業を考えたい。

③若年層のヘルスリテラシー向上

大学生に健康保険制度についての教育を行う。若年層のヘルスリテラシーを上げることで将来の医療費の抑制などに結び付く。

～評議員の皆様へ～

今後の群馬支部の取組についてのご意見や支部の課題解決に繋がると考えられる取組などのアドバイスを伺いたく存じます。